

7月29日(水) (沢木地区)

岡 道外から雄武高校への入学者を呼び込む取り組みも大切だと思いますが、地元の生徒に対してはどのような取り組みを行っているのでしょうか。学力向上や進学指導、地域に貢献できる人材の育成など、地元の生徒が雄武高校で学ぶ魅力を高めることも重要だと思いますが、どのように考えていますか。

岡教育長

まず、道外から生徒を募集する件については、あくまで雄武高校は道立の高校であるため、地元の生徒を優先して入学させるというスタイルに変わりはありません。また、雄武高校では学力向上や進学指導、そして地域に貢献できる人材育成を重視しています。学力向上と進学指導については、現在、T・baseという大学向けの専門科目を受講する科目を設けており、結果として今年度の卒業生で北見工业大学と弘前大学への合格を果たした者もいます。更に来年度の1年生からは、学力差の大きい中、学校独自の科目を開設してベーシックグループとアドバンсドグループの二つに分け、ベーシックグループでは中学校の学び直しを含めた学習の定着を図り、アドバンсドグループでは大学進学を目指す生徒に高度な学習指導を行います。また、地域に根差した教育活動としては、特産品の開発などを実施

しており、地域を知り地域の発展に貢献する人材育成に取り組んでいます。

岡 小中学校の校舎について、新たに建てるのか、改修するのかなど色々決めていくことはありますが、いつまでに、どのように完成に向かっていくのかを教えてください。

岡教育振興課参事

整備方法や建築場所、増築や改築については、現在、基本計画を策定しており、その中で判断する予定となっています。なお、事業の実施スケジュールについては、今年の春に『新しい学校づくり基本構想』を策定しており、その中で最短で令和13年の春に開校としています。

岡 防災行政無線の情報をスマートフォンでも受け取れるようにする取り組みについて、停電などで携帯電話の基地局が使えなくなった場合、スマートフォンだけでは情報を受け取れなくなる可能性もあると思いますが、どのように考えていますか。

岡町長

防災行政無線については、まず「聞こえにくい」という課題への対応として、スマートフォンやタブレットで情報を受け取れるようにしたものであり、スマートフォンが万能だとは考えていません。スマートフォンを持っていない方への対応について

となった場合には、対応を検討していきます。

岡 町の職員数について、本来、何人必要となっているのでしょうか。また、現状でどのくらいの人数が足りていないのでしょうか。

岡総務課長

令和5年4月から、定年延長に伴い職員の定数を159人から174人に変更しています。ただし、174人が現在必要な職員数ということではなく、定年延長に伴う職員数の増加を見込んだものです。令和8年4月1日現在の職員数は142人で、現在は144人、8月1日には、国保病院の社会福祉士1名の採用や休職から復帰する者がいるため、146人となる予定です。病気休暇や休職中の職員もいるため、現在は会計年度任用職員を増員して対応しており、休職者などが復帰すれば、万全ではないですが、業務を維持できる状況と考えています。

岡 ここ数か月で沢木方面に「津波の時はこちらからストップします」といったようなことが書かれている黄色い看板が立てられたと思います。が、あの看板は何を意味するものなのでしょうか。

岡地域防災室長

令和8年3月下旬から4月上旬にかけて、町内5カ所に津波に関する

も、今後検討する必要があると考えています。過去のブラックアウトでは、携帯電話の基地局が使えなくなり、通信が困難になった経験があります。今後、実際にどのような問題が生じるかを確認しながら、必要な対策を検討していきます。

岡 大規模な災害で道路や通信などのインフラが被災した場合、各地域の被害状況を把握したり、役場と各地域で相互に情報をやり取りすることが難しくなると思います。地区ごとに拠点を設け、無線や衛星通信などを活用した情報収集・通信体制を平時から整備しておく必要があると思います。が、どのように考えていますか。

岡地域防災室長

災害時に離れた地域と情報をやり取りする方法については、現在、具体的な体制は設定されていませんが、非常に重要なことだと認識しています。来年度の防災計画の見直しの際にご意見を参考にし、情報を収集できる体制づくりを進めていきたいと考えています。

岡町長

現在、役場には業務用無線や衛星電話を設置しています。災害時に確実に通信できるよう、無線の配備やスターリンクなどの衛星通信も含め、必要な体制を整えていきたいと考えています。過去のブラックアウトの経験を踏まえ、何が不足してい

注意喚起看板が設置されました。設置場所は、国道では沢木地区の国道と道道883号の交差点付近、ヤマト運輸付近の2カ所、道道では道道49号の開生、道道60号の幌内・高野牧場付近、道道410号の北見信金裏駐車場付近の3カ所です。これらの看板は役場が設置したものではありません、国道の看板は北海道開発局網走開発建設部興部道路事務所工務課、道道の看板はオホーツク総合振興局網走建設管理部興部出張所が所管しています。看板の記載内容は、国道が「津波警報の際はここから通行止めとなります」「道道が「津波警報時この先進入禁止」となっています。いずれも、そのまま進むと津波浸水想定区域に入ることを知らせるとともに、平常時から津波への防災意識を高めることを目的としています。

また、災害時に町外からの車両が流入し、住民の避難時に渋滞が発生するなどの影響を抑える目的もあります。なお、これらはあくまで注意喚起を目的とした看板であり、津波警報が発表された際に、看板の設置場所です。実際に物理的な通行止めを行うものはありません。通行止めの方向については、道道の看板は海岸側へ進む車両が対象です。国道の看板は、沢木地区の看板より北側の元沢木地域、ヤマト運輸付近の看板より北側の元稲府地域が津波浸水想定区域となつているため、看板の設置場所より北へ進む車両が対象となっています。

るのかを確認しながら整備を進めていきます。また、来年度の防災計画の見直しの際に、道路と通信が機能しなくなった場合の対応についても、さまざまなご意見をいただきたいながら検討していきたいと考えています。

岡 沢木地区の道路で舗装を剥がしたままになっている箇所があります。が、舗装の予定はありますか。また、公園の柵が道路側に倒れてきているため、対応していただきたいです。

岡建設水道課長

道路については、凍上によって15cm以上の段差が生じたため、春先に舗装を剥がしていますが、業者からは、来週、お盆前に舗装を行うと聞いています。公園の柵については、現地を確認し対応します。

岡 熱中症対策として避難所を開設した際、車を持たない高齢者など、自力で避難することが難しい方への対応はどのように考えていますか。また、自主防災組織の体制も変化していることから、自治会など地域での支援体制を改めて確認する必要があるのではないのでしょうか。

岡地域防災室長

まずは自治会で協力して送迎などを行っていたきたいと考えています。自治会だけでは対応が難しい場合は、町に相談していただければ個別に対応を検討します。災害時に限

7月30日(木) (幌内地区)

岡 自治会への3万円の助成について、いつから決まっていたのでしょうか。また、自治会にはどのように周知されているのでしょうか。共栄自治会では毎年50人近くが集まる行事を実施していますが、今からでも申し込みは間に合いますか。

岡地域防災室長

町の広報紙や春の自治会連合会総会でお知らせしています。申し込みについては、今からでも間に合います。

岡 小中学校の工事が終わって、何年度から使用開始となるのでしょうか。

岡教育振興課参事

今年の春に『新しい学校づくり基本構想』というのを作ったのですが、その中では最短で令和13年春の開校を目指しています。

岡 募金について、善意で寄せられた募金が適切に扱われなかったことについて、幌内では募金への協力をやめようという意見も出ています。町ではどのように受け止めていますか。

岡町長

本件は非常に残念なことであり、募金をしている皆さまからすれば大変な憤りを感じていると思います。管内や道内の町村長との集まりもな